



すべての人に安全と 快適を

大阪府立工芸高等学校 3年

お ざき のぞ み
尾崎 希美

私が今回調査した場所は、大阪市阿倍野区役所です。ここは、現在通っている高校の近くにあり、私たちの近くにどのような優しさがあるか知るためにも本課題にぴったりだと思い、選びました。

まず初めに調査したのは区役所の入口部分です（写真1・2）。歩道から入口まで誘導ブロックが敷かれており、目が不自由な方でも区役所へ迷わず行けるよう配慮されていました。さらに、入口の自動ドアの部分には音声ガイドによる施設説明も流れていて、安心して区役所を利用できるようになっています。入口横の部分には、緩やかなスロープも設置されていました。私が調査している際も、ベビーカーを利用している方が活用しており、このようなやさしさが人々の快適な暮らしに直結していると感じました。

次に調査した場所は車いす兼用エレベーターです（写真3）。このエレベーターには車いすマークが付いており、様々な配慮や優しさを見つけることができます。まずは乗場です。通常の押しボタンよりも下に車いす用のボタンが設置されており、車いすの方にとって押しやすい配慮がなされています。また、前廊下の幅もしっかりと確保されており、車いすやベビーカーを利用されている方が安全に出入りができるよう工夫されていまし

た。私たちが普段あまり気づきにくいことでも、このように利用者の立場になって考えてみると、エレベーターひとつでも様々な安全配慮と優しさがあることに気づきました。

次に調査したのは階段です（写真4）。この階段には手すりが縦に二段設置されていました。これは、利用者の身長に配慮された設計だそうです。高齢者や子どもも手すりを利用しやすいよう普通の手すりに加えて、少し低めの手すりが設置されていました。小さな工夫だけど、そこには大きな優しさと思いやりがあると思いました。

今回、このまちのやさしさを調査して一番感じられたのが人の優しさです。この調査を行う際、はじめに区役所の窓口で、レポート用の写真を撮ってもよいか許可をいただきました。窓口の方は、丁寧に私の話を聞いてくださり、その後も調査をしている時に、困ったことはないか役所の方が声をかけてくださることもありました。また、役所の入口には「あべのあんしんステーション」というシールが貼られていました（写真5）。あべのでは、地域ぐるみで高齢者や障がい者を守る素晴らしい取り組みがされています。人々の思いやりや、優しさが私たちの生活に安心と快適を与えてくれていることを身をもって感じる事ができた調査でした。



写真1 区役所入口誘導ブロック



写真2 区役所入口スロープ



写真3 区役所内エレベーター



写真4 区役所内階段



写真5 区役所入口自動ドアのステッカー